

## 施設紹介〈第8回〉

### 社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院

〒569-1115 高槻市古曽部町1-3-11  
TEL 072-683-1212 FAX 072-681-7759  
<http://www.aijinkai.or.jp/reha/>

当院は昭和58年に前身の「高槻第二病院(後の理学診療科病院)」として開院しました。開院時よりリハビリテーション(リハ)専門病院として地域の皆様に質の高いリハ医療を提供すべく職員一同一丸となったチーム医療を展開してきました。現在は、回復期リハ病棟3病棟130床、医療療養病棟2病棟95床の225床により、患者さまが「再びその人らしい生活に」復帰されることを目標に、リハ医療に取り組んでいます。

スタッフは、リハ専門医2名を含む医師8名(リハ科6名、内科2名)、理学療法士26名、作業療法士24名、言語療法士6名、回復期15:1、医療療養25:1の看護体制にて勤務しています。近年、脳卒中患者4割、骨関節疾患4割、その他2割の患者構成であり、骨関節疾患患者、廃用症候群の増加が顕著です。平成21年10月より回復期病棟365日訓練制を導入し、さらなるリハの充実をはかっています。

平成12年から行政より大阪府三島圏域地域リハビリテーション支援センターとして認可をうけており、各医療機関の連携を強化し、切れ目のないリハサービスを提供できる体制作りに取り組んでいます。

また、新病院へ新築移転することになりました(下画像)。本年9月末に着工、平成23年5月末に竣工、7月にグランドオープン予定です。新

病院は地上9階、地下1階建てで、4階、5階は回復期リハ病棟168床、6階は療養病床57床1病棟となる予定です。

現在、大阪医科大学、神戸大学の臨床協力施設であり、学生実習、臨床研修を受け入れています。今後は、新病院にて活発に臨床、研究、教育を行う予定です。そのためには多くの力が必要です、共に進む皆様のお越しをお待ちしています。

愛仁会リハビリテーション病院 加藤 洋



### (財)白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院 リハビリテーションセンター

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地  
TEL 0739-43-6200 FAX 0739-43-7891  
<http://www.hamayu-hp.or.jp/>



当院は、和歌山県西牟婁郡白浜町の白良浜を望む高台に位置しており、一般病棟82床、療養病棟188床(回復期リハ病棟37床・医療保険型51床・介護保険型100床)を有し、脳血管(1)、運動器(1)、呼吸器(1)のリハ施設基準を受けている。また日本リハ医学会研修施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本神経学会准教育施設、日本温泉気候物理医学会認定教育施設等に認定されている。

日本リハ医学会専門医1名の他、日本リハ医学会会員医師

は4名おり、今後の専門医取得を目指している。また理学療法士25名、作業療法士11名、言語聴覚士5名、臨床心理士1名、医療ソーシャルワーカー2名、管理栄養士3名及びナースの多職種によるチームアプローチを実践している。

当院では各病棟、外来、訪問を対象に幅広くリハを行っており、入院時より在宅まで円滑で一貫したリハを受けられる点が特色である。また回復期病棟は和歌山県紀南地方では唯一であり、和歌山県では随一の手術数である人工膝関節の周術期をはじめ、近隣の南和歌山医療センターまた新宮市立医療センター等から紹介を受けた脳血管障害、脊髄損傷等に対し集中的なリハを行っている。回復期病棟での2008年度の在宅復帰率は81%であった。パーキンソン病等の神経難病については外来あるいは医療療養病棟等で機能改善・維持を図っている。いずれの病棟においてもリハカンファや担当者会議を定期的に行い、適切なリハプログラムを設定、日々検討して柔軟に修正を行っている。これらより患者は白浜町に限らず、紀南地方広範囲より受診をされている。

2007年には和歌山県より田辺・西牟婁郡の地域リハ広域支援センターの指定を受けた。当地域のリハに関わるスタッフ向けの公開講座やリハ連絡協議会を主催し、地域リハの向上また適切なリハ体制の推進を図っている。地域に質の高い十分なリハ医療を提供していきたいと願っている。

白浜はまゆう病院  
リハビリテーションセンター

小口 健

